

# 輝く 田底っ子

第51号

文責：校長 益永 一幸

## 田底小 スローガン

- ① 自分と周りの人を大切にしよう ② 自ら進んで学び、互いに高め合おう

### 臨時休校への対応「ありがとうございました」

3日間の突然の休校になりましたが、期間中のオンライン授業等を各家庭で対応をしていただきありがとうございました。お仕事やその他の予定などを変更していただいたことかと思いません。オンライン授業は、大きなトラブルもなく集中して学習できていたようです。学校では、今後もなお一層感染予防対策を徹底しながら、学習活動を進めていきたいと思えます。

### 2月学校集会 校長講話 「2月は次（4月）に向けて準備する月」

みなさん、昨日は2月3日「節分」の日でしたね。家で豆まきをした人はいますか。そして今日は何の日か知っていますか。「節分」の翌日は「立春」です。日本の暦では、今日の立春から「春」の季節になります。でも、春といったってとても寒いですね。この寒さがずっと続くわけではありません。だんだん風が長くなっていることに気づいていますか。実は、春は気づかないうちに近づいてきているのです。

これは、校庭のある木の枝の写真です。何の木の写真でしょうか。

そうです。桜です。校庭の桜の枝には、すでにこのように「つぼみ」がついています。これからどんどんふくらんでいきます。どのようにふくらんで咲くのか注目して観察してください。今年の桜の開花はいつぐらいでしょうか。

実は、桜は、暖かくなったら早く咲くわけではないのです。

桜は、一度きちんとした寒さにさらされないといつぼみが膨らみ始めないそうです。これをちょっと難しい言葉ですが、「休眠打破」といいます。

桜は、夏に次の年の春に咲くための準備ができていますが、だんだん寒くなると、一度活動が止まり眠った状態になります。そして、今のようなどとても寒い状態になると眠りから覚めて活動を再び始めるそうです。その後は、皆さんもよく知っているように暖かい日光を浴びてだんだんつぼみを膨らませていき、最後にはきれいな花を咲かせます。

このように、桜は気温が暖かくなったから花を咲かせる準備を始めるのではなく、寒さで目を覚まし、だんだん春に向かって準備を始めるのです。

これは、皆さんも同じですね。春になれば新しい学年に、特に6年生は中学校に進学です。次のステップで、これまで以上に活躍するためには、春になって暖かくなったら準備するのではなく、この寒さの中でも、次に向けて小さな努力を重ねて準備を始めることが大切です。

もちろん、自分のがんばりだけではなく、今の学級でみんなと協力してこの一年間のまとめをがんばることも大切な次の学年への準備の一つです。今から準備を始めたら、春からの新しい学年がもっと楽しみになりますね。寒さに負けずに、次に向けての残りの3学期をさらにいいものにしましょう。